

平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 広田 恭一

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	22,869	3.8	2,377	84.1	2,334	95.9	1,543	81.0
21年6月期第3四半期	22,033	—	1,291	—	1,191	—	852	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	166.60	—
21年6月期第3四半期	91.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	19,627	6,141	31.3	662.95
21年6月期	19,066	4,611	24.2	497.74

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 6,141百万円 21年6月期 4,611百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	5.50	5.50
22年6月期	—	0.00	—		
22年6月期 (予想)				8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,200	2.2	1,600	37.9	1,540	45.5	1,000	16.5	107.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は5ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	9,295,000株	21年6月期	9,295,000株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	31,012株	21年6月期	29,792株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第3四半期	9,264,912株	21年6月期第3四半期	9,268,728株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策などの効果により一部で回復の兆しがみられているものの、依然として低調な企業の設備投資や雇用情勢の悪化に加えて消費者の節約志向が益々強まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、競合企業との価格競争の激化ならびに消費不況に伴う買い控えの影響もあり厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社グループでは「安全・安心」な商品提供を最優先とし、主力製品のリニューアルや品質向上への取り組みなど市場動向に即応した商品開発、営業施策の推進により積極的に売上高の確保につとめてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高228億69百万円（前年同四半期比8億35百万円（3.8%）の増加）、営業利益23億77百万円（前年同四半期比10億86百万円（84.1%）の増加）、経常利益23億34百万円（前年同四半期比11億42百万円（95.9%）の増加）、四半期純利益15億43百万円（前年同四半期比6億90百万円（81.0%）の増加）となりました。

当社グループにおける事業の種類別セグメント毎の経営成績の概況は以下の通りであります。

(1) 食品製造販売事業

（水産練製品・惣菜部門）

当部門におきましては、消費者の節約志向が益々強まる中、低価格商品への移行がさらに進行し、販売状況は厳しいまま推移いたしました。

主な商品の販売動向といたしましては「蒲鉾」「竹輪」部門が引き続き順調に推移し前年同四半期を上回る実績で推移いたしました。

一方、「揚物」「オホーツク」部門につきましては、消費者ニーズに適応した商品リニューアル・拡販施策を実施したものの価格競争の激化、買い控え等の影響もあり前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当部門全体の売上高は190億24百万円（前年同四半期比5億85百万円（3.2%）の増加）となりました。

（きのこ部門）

当部門におきましては、気象条件による相場の変動等もありましたが、主力取引先を中心に販売強化に継続的に取り組んだことに加え、内食化傾向の継続も相まって売上は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は34億44百万円（前年同四半期比2億93百万円（9.3%）の増加）となりました。

（運送・倉庫部門）

運送部門におきましては、一般顧客との取引深耕に加え、新規取引先の売上拡大により業績は堅調に推移いたしました。

倉庫部門におきましては、多くの寄託者において在庫消化中心の荷動きで新規入庫が減少し、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当部門の売上高は2億24百万円（前年同四半期比27百万円（11.0%）の減少）となりました。

(2) その他の事業

ゴルフ場経営部門におきましては、顧客ニーズに対応すべくサービスの向上や販促企画の充実、また営業活動を強化し来場者数の増加に取り組んでまいりましたが、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

また、近郊の競合コースとの価格競争も引き続き厳しい状況にあり、利益面でも前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1億76百万円（前年同四半期比15百万円（8.2%）の減少）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

(1) 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は56億98百万円（前連結会計年度末比9億40百万円の増加）となりました。これは主に現金及び預金の増加4億2百万円及び季節的要因による受取手形及び売掛金の増加4億29百万円によるものであります。

(2) 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は139億28百万円（前連結会計年度末比3億79百万円の減少）となりました。これは主に減価償却進行による有形固定資産の減少4億42百万円によるものであります。

(3) 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は99億68百万円（前連結会計年度末比3億61百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の減少15億44百万円によるものであります。

(4) 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は35億17百万円（前連結会計年度末比6億7百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少4億73百万円によるものであります。

(5) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加14億92百万円等により61億41百万円（前連結会計年度末比15億29百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の24.2%から31.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7億1百万円となり、前連結会計年度末に比較して4億48百万円の増加となりました。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は28億77百万円（前年同四半期比19億93百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は、2億41百万円（前年同四半期比2億40百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出の減少によるものであります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は、21億87百万円（前年同四半期比17億2百万円の増加）となりました。これは主に借入金の返済額の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね前回発表（平成22年2月5日）の業績予想の想定範囲内で推移しており、通期連結業績予想につきましては変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

① 前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「雑収入」に含めていた「受取手数料」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「雑収入」に含まれる「受取手数料」は6,291千円であります。

② 前第3四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めていた「投資有価証券売却損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「投資有価証券売却損」は82千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,530	672,425
受取手形及び売掛金	2,684,163	2,254,802
商品及び製品	252,006	353,496
仕掛品	214,839	269,359
原材料及び貯蔵品	1,247,283	1,092,177
その他	235,234	126,391
貸倒引当金	△9,639	△10,288
流動資産合計	5,698,417	4,758,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,228,801	5,454,287
機械装置及び運搬具（純額）	2,089,044	2,298,062
工具、器具及び備品（純額）	149,649	163,369
土地	4,220,894	4,220,894
リース資産（純額）	10,872	5,469
有形固定資産合計	11,699,262	12,142,083
無形固定資産	235,375	239,337
投資その他の資産		
投資有価証券	1,462,191	1,379,917
その他	600,358	651,805
貸倒引当金	△68,471	△104,978
投資その他の資産合計	1,994,078	1,926,744
固定資産合計	13,928,716	14,308,166
資産合計	19,627,134	19,066,531
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,385,083	1,124,101
短期借入金	6,177,153	7,721,292
未払法人税等	926,339	217,406
賞与引当金	164,480	77,557
未払金及び未払費用	1,181,978	1,058,688
その他	133,266	130,592
流動負債合計	9,968,300	10,329,638
固定負債		
長期借入金	2,856,440	3,330,315
役員退職慰労引当金	412,171	393,507
その他	248,640	401,411
固定負債合計	3,517,251	4,125,234
負債合計	13,485,552	14,454,873

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,378,015	2,885,473
自己株式	△15,750	△15,168
株主資本合計	5,952,265	4,460,304
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	189,316	151,353
評価・換算差額等合計	189,316	151,353
純資産合計	6,141,582	4,611,658
負債純資産合計	19,627,134	19,066,531

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	22,033,427	22,869,279
売上原価	16,078,146	15,531,291
売上総利益	5,955,281	7,337,988
販売費及び一般管理費	4,663,758	4,960,333
営業利益	1,291,522	2,377,654
営業外収益		
受取利息	1,246	794
受取配当金	9,514	9,520
受取賃貸料	18,015	16,485
受取手数料	—	18,873
雑収入	49,290	31,112
営業外収益合計	78,067	76,785
営業外費用		
支払利息	177,626	118,979
雑損失	—	553
営業外費用合計	177,626	119,532
経常利益	1,191,963	2,334,907
特別利益		
固定資産売却益	6,241	1,217
貸倒引当金戻入額	9,118	6,842
その他	—	23
特別利益合計	15,359	8,083
特別損失		
固定資産売却損	—	77
固定資産除却損	4,427	10,146
投資有価証券売却損	—	6,455
投資有価証券評価損	5,491	726
その他	82	—
特別損失合計	10,001	17,405
税金等調整前四半期純利益	1,197,321	2,325,585
法人税、住民税及び事業税	340,908	1,029,658
法人税等調整額	3,780	△247,594
法人税等合計	344,689	782,063
四半期純利益	852,632	1,543,521

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,197,321	2,325,585
減価償却費	865,320	780,803
のれん償却額	6,528	2,814
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,661	△37,155
賞与引当金の増減額(△は減少)	89,807	86,922
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,508	18,663
受取利息及び受取配当金	△10,761	△10,315
支払利息	177,626	118,979
固定資産売却損益(△は益)	△6,241	△1,139
固定資産除却損	4,427	10,146
売上債権の増減額(△は増加)	△178,656	△396,488
たな卸資産の増減額(△は増加)	355,368	904
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,754,629	260,982
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	94,850	157,679
未払消費税等の増減額(△は減少)	123,972	△37,102
その他	△25,048	△79,011
小計	911,716	3,202,270
法人税等の支払額	△59,082	△324,540
法人税等の還付額	32,096	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	884,729	2,877,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	4,237	46,092
有形固定資産の取得による支出	△469,631	△277,873
有形固定資産の売却による収入	9,933	1,325
無形固定資産の取得による支出	△8,715	—
投資有価証券の取得による支出	△11,083	△44,396
投資有価証券の売却による収入	—	35,443
利息及び配当金の受取額	10,569	11,009
その他	△17,374	△13,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,064	△241,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	706,500	△1,908,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△947,194	△1,610,014
利息の支払額	△191,666	△117,031
配当金の支払額	△51,009	△50,979
その他	△1,719	△1,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485,089	△2,187,806
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△82,424	448,197
現金及び現金同等物の期首残高	481,146	253,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	398,721	701,416

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日）

該当事項はありません。